

# 勝海舟基金

## - 活用報告 -

あたたかいご支援を  
ありがとうございます

平成30年8月から募集させていただき、  
令和元年度末には累計で、698件 45,095,654円のご寄附を賜っております。  
ご支援いただきました寄附の一部を次のとおり活用させていただきましたので  
ご報告させていただきます。

### ■資料の購入

令和元年度には、みなさまからのご寄附を活用させていただき、勝海舟ゆかりの資料  
43点を購入いたしました。

中には、未公開資料も含まれており、開館1周年記念展でも展示しております。

次の2点の資料は、海舟の咸臨丸渡航に関する貴重な資料です。

#### ◁ James Alden 肖像写真〈初公開〉

ジェームス・オルデンは、アメリカ合衆国の海軍軍人  
です。勝海舟がサンフランシスコで出会い、咸臨丸を  
メア島造船所で修理するに当たり、海舟をメア島  
まで案内しました。咸臨丸帰港の翌年に開戦した南北  
戦争にも北軍の指揮官として参戦しています。20世紀  
の駆逐艦「オールデン」は、オルデンの名が贈られた  
ものです。

本資料は、オルデンが海舟と交流した際に贈った記念  
写真かと思われます。

#### ◁ 写真 咸臨丸水夫の墓

サンフランシスコに建てられ  
た、咸臨丸水夫の墓所を写し  
た写真です。咸臨丸乗員の中  
には、航海中に発病し、故郷  
の土を踏めなかった若者達も  
いました。明治期に現地  
に渡った日本人が彼らの墓の発  
見・保存に尽力したことで彼  
らの存在は人々の記憶に留め  
られ、今日に至っています。

### ■資料の修復

収蔵資料の多くは、江戸時代末期から明治時代のものであり、中には劣化の激し  
いものもあります。

資料は朽ちて弱くなった部分から劣化が進行するため、歴史的な資料を後世に残  
していくために資料の修復は不可欠です。

それらの重要な資料の修復に、みなさまからご支援いただいた寄附の一部を活用  
させていただき、令和元年度には、68点の資料を修復いたしました。



before

〈過去の修復の一例：麒麟硯箱〉  
※本資料は開館1周年記念展で展示中

白茶色の付着物を取り除き、  
本来の美しい姿へ



after

海舟所用と伝わる木製の硯箱です。  
フタの表には、海舟の通称「麟太郎」を  
想起させる中国の霊獣「麒麟」が雲間を  
駆ける姿、フタの裏には「海舟」という  
号を連想させる月夜の海が彫刻されてい  
ます。  
今回、本資料が鎌倉の仏師後藤斎宮の手  
による「鎌倉彫」であることが明らか  
になりました。

◁ 「佐藤与之助・坂本龍馬連署書状」等の修復過程も公開中。  
下記コードより“ご報告”をご覧ください。▷



より魅力的な記念館として運営し続けられるよう、勝海舟基金は現在も募集中です。  
引き続きのご支援・ご協力のほど心よりお願い申し上げます。

勝海舟基金  
の詳細は  
こちら



大田区立勝海舟記念館  
大田区南千束2-3-1  
03-6425-7608